



謹賀新年

明けましておめでとうございます。新年を迎え、皆様がますます清栄でありますことをお慶び申し上げます。私は一昨年の6月に着任以来、富山県をはじめ、これまで45の都道府県を訪問し、日本の各界の方々と交流を深めてきました。至るところでさまざまな分野の交流があり、台日間は深く強い絆で結ばれていることを実感しました。これもひとえに、地道に交流を積み重ねて来られた台日関係に携わる諸先輩方の努力の賜物であり、心より感謝申し上げます。台日の実質的な関係を支えている地方交流も極めて重要であり、私が着任以来、約一年半の間に台湾と日本の地方自治体間で40の交流協定または覚書が締結され、これまでに合わせて98に達しました。今年7月には「台日交流サミット」が初めて台湾の高雄市で開催されることになり、日本からも多くの地方議員が出席を予定しています。日本の地方の特色ある文化イベントは、多くの台湾人観光客を魅了しています。同様に台湾では、ランタンフェスティバルが毎年元宵節(旧暦1月15日)の前後に盛大に開催され、今年も嘉義県がメイン会場となります。また、今年秋には台中市で「台中フーロー世界博覧会(花博)」が開催されます。客家文化の魅力が詰まった「台3線 客家ロマンチック街道」も日本の皆様ぜひ体験していただきたいスポットです。台湾と日本の良好な関係を次の世代へつなげていくためには、修学旅行、留学、ワーキングホリデーなどを通じた若者交流が極めて大切であり、育まれた友情は両国にとり、かけがえのない財産となるでしょう。世界情勢がめまぐるしく変わる中、台日の「心と心」の友情は、世界平和の模範となり、アジアの安定と発展にも寄与すると確信しています。本年が皆様にとり、よい一年となりますようお祝い申し上げます。



新年のあいさつ
台北駐日経済文化代表処
代表 謝長廷

9月 市町村・関係団体に台湾国旗を贈る

関係団体から台湾国旗提供の要請があることから大阪弁事処より無償で6種の台湾国旗を提供いただき、県内市町村に案内した。県内7自治体、1団体、1企業に贈呈した。これからの要請があれば台湾国旗を提供していきたい。

10月6日 中華民国(台湾)建国106年国慶節祝賀会

大阪ウエスティンホテルで行われ、西日本各地から親善協会、日台議員連盟ほか関係者が集まり盛大に国慶節を祝った。当協会から中川会長、奥野理事が出席した。

11月12日 国際交流フェスティバル

各国約40の関係団体が参加してCIBCビルと富山駅の2会場で開催。当協会は、富山県カンボジア国王親善協会、富山県中国雲南省友好協会と共に8回目の出展となった。協会の活動写真パネルを展示し、台湾観光パンフレットを配布して台湾と協会のPRにつとめた。会場が富山駅になって3年目となり年々盛んになっている。



交流ひろば

寄稿文 募集中!

台湾に骨を埋めた「台湾電力の父」明石元二郎

事務局長 広嶋 寿雄

先日、当協会の台湾親善ツアーで日月潭を遊覧した。そこでガイドさんからここで水力発電事業を興した明石元二郎総督のことが紹介された。明石元二郎といえは日露戦争時、謀報(スパイ)活動によってロシア革命を支援し、ロシアを錯乱させ、弱体化を図った。これにより日本の勝利に大きく貢献した影の立役者言われている。

1918年明石は第7代総督に就任すると台湾全土を隈なく視察して民意を汲み取った。まず華南平原の大灌漑事業と日月潭の水力発電に取り組んだ。華南の烏山頭ダムについては八田與三が幾多の苦難を乗り越え、10年で完成させたが(本誌7号に掲載)、この華南大灌漑事業業のもつとすこい所は、台湾一の大濁水溪から烏山頭ダムへの導水と日月潭へ導水したことである。これにより両方も水位が上がり干ばつ、水害が多発する不毛の大地だった華南平原は、豊穡の大地と生まれ変わり、日月潭は、いまでも台湾の半分を供給する大発電所となった。また日月潭は人造のダム湖となり風光明媚な一大観光地になった。この華南大灌漑事業と日月潭の水力発電計画は、あまりにも巨額な予算のため当時の内閣に何度も拒否された。そこで明石は東奔西走。発電事業については官民共同の台湾電力会社を設立して1919年着工にこぎ着けた。華南大灌漑事業も受益面



年頭のあいさつ
富山県日台親善協会
会長 中川 忠昭

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに初春を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年5月に台北駐日経済文化代表処代表の謝長廷氏をお迎えし「代表を囲む会」を開催し、石井県知事への表敬訪問を実現することができました。その際、「世界で最も美しい湾クラブ」総会の誘致を台湾(澎湖湾が加盟)からも働きかけてもらうよう要請しましたところ快諾してくださいました。こうしたこともあり、本県での2019年開催が内定しました。本日に、謝長廷代表には心から感謝申し上げます。台湾との交流においては、依然として富山から台湾を訪れる人が少ないのが課題であります。こうした中、富山台北便の冬期間に週2便から4便になったことは誠に嬉しい限りであります。早速、当協会では11月末に第8回目となる訪台を実施し本県のPRは勿論のこと、日月潭などを訪れ、台湾のPRもできるような努力をしています。今年7月には、県内在住者の台湾出身者で新しくこの3月に設立される「富山県台湾総会」と協力して台湾のPRを実施することとしています。是非、会員の皆様にも参加していただき、台湾を訪れていただきたいと思っております。また、私(こと昨年2月には台湾の交通部観光局長(日本では国土交通省観光庁長官に相当)から「台湾観光貢献賞」を受賞いたしました。大変光栄に思っておりますが、本協会の会員はもとより関係各位の皆様のお陰であり心から感謝申し上げます。この受賞を期にもっと台湾との交流促進に弾みをと、激励されているのだと思います。今年も両国の一層の交流促進に貢献できるよう各界各層に働きかけることや事業に取り組みますので、会員の増強も含め、会員各位のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。最後に申しあげましたが、会員各位のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

積を増やせ、採算性を向上させることと同時に着工となった。これにより烏山頭ダムは1930年完成、日月潭の水力発電所は1943年に最終完成した。明石総督は教育にも力を入れた。日本人と同等の教育を台湾の人たちにも受けさせる制度に改革。師範学校、職業学校などが多く創設された。大阪帝大や名古屋帝大より先に台北帝国大学も創設された。それにより多くのリーダーが輩出され台湾発展の大きな力となった。

明石総督は1919年、さあこれからという時に原因不明の病気で急死。就任してわずか1年数カ月後のことで55歳であった。台湾に対して相当に強い思いがありすべてが道半ばで無念であったろう。遺言により台北の旧三板橋に埋葬され、そばに明石神社を建て、祀られた。以後ここが日本人共同墓地となった。この日本人共同墓地が終戦後、台湾に逃げ込んだ蒋介石軍に占拠され、墓石、明石神社が破壊されバラック住宅が密集するスラム街と化した。

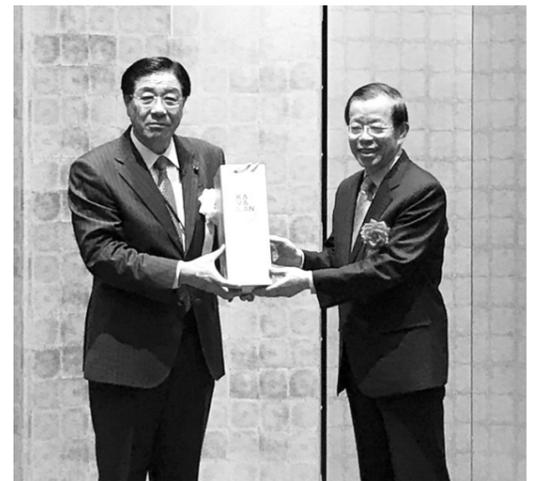
1997年、民主化になった陳水扁總統の時に、ようやくスラム街の住民が立退き、旧日本人墓地跡は森林公園として再生された。この時、明石の墓が掘り起され、台湾北部三芝郷の福音山キリスト教墓苑(明石はキリスト教徒)に納められた。遺族の了解のもとに台湾の有志者が資金を出し合って納めたのである。ここにはテレサ・テンの墓もある。なおこの時発見された明石神社の鳥居は台湾の人たちの手で保存され、二二八和平公園内(旧台北新公園)にある台湾博物館の前に移されている。八田與一と同様、明石元二郎も「台湾電力の父」として今でも慕われている。

Advertisement for Kirea Water. Text: 「これからは、おなか改善水。毎日続けて「お通じ改善」」. Product image: Kirea Water bottles. Contact info: 五洲薬品株式会社, 本社/〒939-8650 富山市花園町1丁目1番5号, www.goshu.co.jp, 0120-333058.

謝長廷駐日代表(台湾駐日大使)来県 懇親を深める

◆135名参加「囲む会」第11回定期総会開催

元行政院長(首相)の謝長廷氏が駐日代表に就任されたのを機に、当協会と県日台友好議員連盟が謝代表夫妻を招いて「囲む会」を企画した。中川会長が「これを機に台湾と富山県の関係をより強固にしていきたい。富山―台北便を活用して多くの県民に台湾を訪れていただきたい」と挨拶し、山崎副知事、稗苗県議会議長、村椿魚津市長が歓迎の挨拶をした。謝代表は「富山県には台湾から大きな拍手が起こった。その後、舟橋立山町長のご発声で乾杯し交流を深めた。」



▲記念品の交換



▲定期総会で挨拶する陳大阪弁事処長

◆謝代表夫妻、陳大阪弁事処長、県知事表敬

謝代表一行は石井知事と懇談。知事は「台湾高校生との部活動の交流等、富山と台湾の交流をあらゆる分野でさらに深めていきたい」と挨拶。謝代表は「世界で最も美しい湾クラブ」総会が18年台湾澎湖で開催されるので是非ご来訪いただきたい。そのうえ台湾の次の総会開催地に富山県を推挙したい」と述べた。これが縁で8月、「湾クラブ」の総会が19年に富山県で開催されることの内定した。駐日代表処から張瑞麟代表秘書、向明德政務部長、劉晃銘政務



▲「囲む会」で挨拶する謝代表

「囲む会」に先立ち、第11回定期総会が開かれ、県知事(代理)、稗苗県議会議長、大阪弁事処陳訓養所長から祝辞を頂いた。その後総会の議事に入り、全員一致で可決承認された。



▲石井知事表敬訪問

日本統治時代の茶業改良場視察と日月潭遊覧

《第1日目》20名が参加

富山空港で結団式を行い桃園空港へ。桃園から新幹線で台中へ、そこからバスで日月潭ホテルへ。ホテル内の温泉でゆっくりくつろぐ。

《第2日目》

午前、日月潭近くにある茶業改良場を視察。ここは紅茶製造工場跡地で、日本統治時代の技師、新井耕吉郎が創った」と梁先生から説明を受け、ウーロン茶ではなく紅茶と聞いてびっくりした。日月潭周辺は800mの高地でインドのアッサム地方同じ気候、地質から、新井技師は紅茶葉の栽培を薦めたという。新井技師の指導のもと高品質の紅茶を生産し、日月潭紅茶として盛んに輸出された。新井技師が建てた工場が今も残り、そこに資料館が建てられ新井技師の銅像が置かれている。そこには「台湾紅茶の守護者」と記されている。その後、好天の中、日月潭一周の遊覧を楽しんだ。そこでガイドさんより、明石元二郎総督がここで水力発電建設ほか台湾の発電のため尽力したと紹介された。



▲新井技師像を囲んで



▲日本統治時代に建てられた茶業改良場

▼宝覚寺の金ピカの布袋



午後、台中市内観光に移り、金ピカの巨大な布袋さんと日本人物故者の慰霊碑のある宝覚寺を参拝した。その後、台北に戻り、中華民国外交部主任秘書、蔡明耀氏(前大阪弁事処所長)を招いて、交流晩餐会を開いた。蔡主任秘書は大阪弁事処所長として何



▲蔡明耀主任秘書を囲んで

度も来県されており、中川会長らと再会を喜び合った。また会場に掲示してもらった富山県の観光ポスターを見て当時の思い出に話が弾んだ。

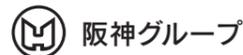
《第3日目》

あいにくの雨のなか、台北市内を観光。午前、衛兵交代で有名な忠烈祠、故宮博物院。午後、蒋介石の中正記念堂等観光し、夕食後京劇を鑑賞。

《第4日目》

早朝、帰路に着いた。

医薬品容器・医療用具の総合メーカー 医薬品(液剤)製造



代表取締役会長 高田 眞 代表取締役社長 高田順一
URL <http://www.hansin.co.jp/>

阪神容器株式会社
阪神化成工業株式会社
ファーマパック株式会社

本社 〒536-0017 大阪市城東区新喜多東1-4-12
TEL(06)6967-1771(代)
富山本社工場 〒939-8183 富山市小中163番地
TEL(076)429-1865(代)
大沢野工場 〒939-2243 富山市中大久保企業団地
TEL(076)468-9119(代)
支店/工場 大阪・東京・滋賀・山形・岡山・茨城・大沢野



おいしさと感動をこれからも。
富山第一ホテル



阪急阪神第一ホテルグループ
TOYAMA DAI-ICHI HOTEL

富山市桜木町10-10 TEL076-442-4411(代)
www.toyama-daiichi.co.jp